4.2 対外的発表

学会等における口頭・ポスター発表

1.1 防災教育に対する知識構造的アプローチ

発表成果(発表題目,口頭·	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国
ポスター発表の別)		(学会名等)		内の別
日本海津波「想定」の課題―	関谷直也・田中	日本災害情報学	2015年	国内
ヒアリングによる予備調査	淳・定池祐季	会第 14 回学会大	10月24	
(口頭発表)		会,山梨大学	日	

1 . 2 沿岸防災手法の工学的評価

発表成果(発表題目, 口頭·	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国
ポスター発表の別)		(学会名等)		内の別
Tsunami sediment analysis	Shinji Sato,	Coastal	平成 27	国際
based on luminescence	Kanto	Sediments	年 5 月	
measurement (口頭発表)	Nishiguchi,	2015, San		
	Yusuke	Diego,		
	Yamanaka			

2 . 1 . 1 歴史文書・地震記録の調査

発表成果 (発表題目, 口頭・	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国
ポスター発表の別)		(学会名等)		内の別
日本海で発生した M7 クラス	室谷智子・佐竹	日本地球惑星科	平成 27	国内
の地震の津波断層パラメー	健治・原田智也	学連合 2015 年	年 5 月 27	
タの推定(ポスター発表)		大会(幕張メッ	日	
		セ)		
Tsunami source model of	Murotani, S.,	26th IUGG	平成 27	国際
large earthquakes occurred	K. Satake, and	General	年6月29	
in the Sea of Japan	T. Harada,	Assembly,	日	
(ポスター発表)		Prague		
Earthquakes and tsunamis	Satake, K.	Tsunami Risk	平成 27	国際
in the Sea of Japan – Past		in East Sea,	年9月14	
history and future		Korea	日	
assessments (口頭発表)				
Seismic and tsunami	Murotani, S.	Tsunami Risk	平成 27	国際
waveforms analysis for		in East Sea,	年9月14	
large earthquakes occurred		Korea	日	

in the Sea of Japan				
(口頭発表)				
日本海で発生した M7 クラス	室谷智子・佐竹	日本地震学会	平成 27	国内
の地震の津波波形の再現	健治・原田智也	2015 年度秋季	年 10 月	
(ポスター発表)		大会(神戸市)	28日	

_2 . 1 . 2 津波堆積物の調査

発表成果(発表題目, 口頭·	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国
ポスター発表の別)		(学会名等)		内の別
津波堆積物から見た若狭湾	山本博文・卜部	第 32 回歴史地	平成 27年	国内
を襲った 14~16 世紀頃の大	厚志・佐々木直	震研究会(京丹	9月21日	
津波について(口頭発表)	広	後大会)		
富山湾沿岸および新潟県直	卜部厚志・高清	日本第四紀学会	平成 27年	国内
江津地域の沖積層に記録さ	水康博・鈴木幸	2015 年大会(東	8月29日	
れたイベント堆積物	治・片岡香子・	京)		
(ポスター発表)	仁科健二・川上			
	源太郎・平川一			
	臣・酒井英男			
若狭湾沿い海岸平野におけ	卜部厚志・高清	日本地質学会第	平成 27年	国内
るトレンチ、コアリングによ	水康博・鈴木幸	122 年学術大会	9月12日	
る津波堆積物調査富山湾沿	治・片岡香子・	長野大会		
岸地域の沖積層に記録され	仁科健二・川上			
たイベント堆積物	源太郎・平川一			
(口頭発表)	臣・酒井英男			
日本海石狩湾陸棚上の起伏	仁科健二・内田	日本地質学会第	平成 27年	国内
地形の形成要因 , 津波および	康人・川上源太	122 年学術大会	9月12日	
内部波の検討	郎	長野大会		
(ポスター発表)				
現世と歴史時代の津波堆積	高清水康博・ト	日本地質学会第	平成 27年	国内
物に対する磁気ファブリッ	部厚志・加瀬善	122 年学術大会	9月12日	
クの適用例(ポスター発表)	洋・林 圭一・山	長野大会		
	本博文			

2 . 2 . 1 沖合構造調査

発表成果(発表題目, 口頭·	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国
ポスター発表の別)		(学会名等)		内の別
Relationship of the crustal	Takeshi Sato,	EGU General	平成 27年	国際
structure and its	Tetsuo No,	Assembly 2015	4月17日	

deformation from arc to	Seiichi Miura,	(ウィーン)		
back-arc basin in the	Shuichi			
eastern Japan Sea deduced	Kodaira,			
from the seismic survey	Hiroshi Sato			
(ポスター発表)				
反射法地震探査から見る能	 野徹雄,佐藤	日本地球惑星科	平成 27 年	国内
登半島西方沖~大和海盆の	壮,小平秀一,	学連合 2015 年	5月24日	П.3
地殼構造(口頭発表)	三浦誠一,石山	大会(幕張メッ	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
	一//2 // 達也,佐藤比呂	セ)		
	志			
海底地震計を用いた地震探	佐藤壮,野徹雄,	日本地球惑星科	平成 27年	国内
査による能登半島西方沖・日	 三浦誠一,小平	学連合 2015 年	5月27日	
本海南東部の島弧 背弧海	, 秀一,石山達也,	大会(幕張メッ		
盆域の地殻構造(口頭発表)	佐藤比呂志	セ)		
Distribution of crustal	Takeshi Sato,	The 2015	平成 27年	国際
structure types and its	Tetsuo No,	Workshop of	10月5日	
tectonic implications in the	Shuichi	the ILP Task		
southern part of the Japan	Kodaira,	Force on		
Sea back-arc basins	Seiichi Miura,	Sedimentary		
deduced from the seismic	Tatsuya	Basins		
survey(口頭発表)	Ishiyama,	(東京)		
	Hiroshi Sato			
地震探査による能登半島西	佐藤壮,野徹雄,	日本地震学会	平成 27年	国内
方沖・日本海大和海盆域の地	小平秀一,三浦	2015 年秋季大	10月28	
殼構造(口頭発表)	誠一,藤江剛,石	会(神戸市)	日	
	山達也,佐藤比			
	呂志			
地震探査から見た大和海盆	野徹雄,佐藤壮,	日本地震学会	平成 27年	国内
における地殻内反射とモホ	小平秀一,石山	2015 年秋季大	10月28	
面の特徴(ポスター発表)	達也,佐藤比呂	会(神戸市)	日	
	志			
日本海東縁部~南西縁部の	佐藤壮,野徹雄,	日本船舶海洋工	平成 27年	国内
地殻構造調査と構造モデル	三浦誠一,高橋	学会平成 27 年	11月17	
(口頭発表)	成実,小平秀一	秋季講演会(東	日	
		京)		
Relation between the	Takeshi Sato,	2015 AGU Fall	平成 27年	国際
crustal structure type and	Tetsuo No,	Meeting	12月16	
the distribution of the	Shuichi	(サンフランシ	日	
crustal deformation in the	Kodaira,	スコ)		

Japan Sea back-arc basins	Seiichi Miura,			
and its margins	Tatsuya			
(ポスター発表)	Ishiyama,			
	Hiroshi Sato			
Crustal structure of the	Tetsuo No,	2015 AGU Fall	平成 27年	国際
western Yamato Basin,	Takeshi Sato,	Meeting (サン	12月16	
Japan Sea, revealed from	Shuichi	フランシスコ)	日	
seismic survey	Kodaira,			
(ポスター発表)	Seiichi Miura,			
	Tatsuya			
	Ishiyama,			
	Hiroshi Sato			
「日本海地震・津波調査プロ	野徹雄,佐藤壮,	ブルーアース	平成 28年	国内
ジェクト」による能登半島西	小平秀一,新井	2016(東京)	3月9日	
方沖・若狭湾周辺~大和海盆	隆太,三浦誠一			
西部の地殻構造				
(口頭発表)				
日本海・福井県沖隠岐トラフ	佐藤壮,野徹雄,	ブルーアース	平成 28年	国内
~隠岐海嶺~大和海盆の屈	小平秀一,新井	2016(東京)	3月9日	
折法・反射法地震探査	隆太,三浦誠一			
(ポスター発表)				

2 . 2 . 2 海域プレート構造調査

発表成果(発表題目, 口頭·	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国
ポスター発表の別)		(学会名等)		内の別
Mantle wedge	K.	International	平成 27年	国際
heterogeneous structure	Nakahigashi,	Union of	6月28日	
beneath the Japan Sea	M. Shinohara,	Geodesy and		
revealed by long-term	T. Yamada, K.	Geophysics		
seafloor seismic	Uehira, S.	2015 General		
observations	Sakai, K.	Assembly		
(ポスター発表)	Mochizuki, H.	(プラハ)		
	Shiobara, T.			
	Kanazawa			
Repeating long-term ocean	K.	2015 American	平成 27年	国際
bottom seismic	Nakahigashi,	Geophysical	12月14	
observations in the	T. Yamada, Y.	Union Fall	日	
southern part of Japan Sea	Yamashita, K.	meeting		
(ポスター発表)	Mochizuki, H.	(サンフランシ		

Shiobara, M.	スコ)	
Shinohara		

2 . 3 . 沿岸海域および海陸統合構造調査

発表成果(発表題目,口頭·	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国
ポスター発表の別)		(学会名等)		内の別
Active Tectonics of	Naoko Kato,	European	平成 27	国際
off-Hokuriku, Central	Hiroshi Sato,	Geosciences	年4月15	
Japan, by two ships seismic	Tatsuya	Union General	日	
reflection profiling	Ishiyama,	Assembly 2016		
(ポスター発表)	Susumu Abe,	(ウィーン)		
	and Kazuya			
	Shiraishi			
Structure of backarc inner	Hiroshi Sato,	European	平成 27	国際
rifts as a weakest zone of	Tasuya	Geosciences	年 4 月 15	
arc-backarc system: a case	Ishiyama,	Union General	日	
study of the Sea of Japan	Naoko Kato,	Assembly 2016		
(口頭発表)	Susumu Abe,	(ウィーン)		
	Hideo Saito,			
	Kazuya			
	Shiraishi,			
	Shiori Abe,			
	Takaya			
	Iwasaki,			
	Mitsuru Inaba,			
	Tetsuo No,			
	Takeshi Sato,			
	Shuichi			
	Kodaira,			
	Tetsuya			
	Takeda,			
	Makoto			
	Matsubara,			
	and Chihiro			
	Kodaira			
日本海地震・津波調査プロジ	加藤直子・佐藤	日本地球惑星科	平成 27	国内
ェクト:鳥取・福井沖地殻構	比呂志・石山達	学連合 2015 年	年 5 月 27	
造探査の成果	也・白石和也・	大会(幕張メッ	日	
(ポスター発表)	阿部 進	セ)		

日本海地震・津波調査プロジ	石山達也・佐藤	日本地球惑星科	平成 27	国内
ェクト:海陸統合地殻構造探	比呂志・加藤直	学連合 2015 年	年 5 月 27	
査「2014 年かほく-砺波測線」	子・蔵下英司・	大会(幕張メッ	日	
による富山堆積盆地の構造	 戸田 茂・越谷	乜)		
(口頭発表)	信・小林健太・			
(, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	野 徹雄・佐藤			
	壮・小平秀一・			
	白石和也・東中			
	基倫・阿部 進			
 地殻構造探査により明らか	石山達也・佐藤	日本地球惑星科	平成 27	国内
になった富山堆積盆地の活	比呂志・加藤直	学連合 2015 年	年 5 月 28	
断層の構造的特徴	子	大会(幕張メッ	日	
(口頭発表)		t)		
本州の背弧内リフトの形成	│ │佐藤比呂志・石	日本地球惑星科	平成 27	国内
と短縮変形(口頭発表)	山達也・加藤直	学連合 2015 年	年 5 月 28	
	子・阿部 進・白	大会(幕張メッ	日	
	石和也・稲葉	セ)		
	充・阿部紫織・			
	蔵下英司・野 徹			
	雄・佐藤 壮・小			
	平秀一・松原 誠			
	石山達也・佐藤	石油技術協会春	平成 27	国内
く・砺波測線」による富山堆	 比呂志・加藤直	季講演会(国立	年6月11	
積盆地の構造(口頭発表)	子・蔵下英司・	青少年オリンピ	日	
	 越谷 信・戸田	ックセンター)		
	 茂・小林健太・			
	野 徹雄・佐藤			
	壮・小平秀一・			
	白石和也・東中			
	基倫・阿部 進			
反射法地震探査による北陸	佐藤比呂志・加	石油技術協会春	平成 27	国内
~鳥取沖の震源断層調査	藤直子・石山達	季講演会(国立	年6月11	
(口頭発表)	也・白石和也・	青少年オリンピ	日	
	阿部 進	ックセンター)		
北陸地域の浅部~深部地殻	石山達也・佐藤	日本地質学会第	平成 27	国内
構造と活構造(口頭発表)	比呂志・加藤直	122 年学術大会	年9月12	
	子・越谷 信・松	(信州大学)	日	
	原 誠・阿部	_		
	進・東中基倫			
		I	J	<u> </u>

2 . 4 . 陸域活構造調査

発表成果 (発表題目, 口頭·	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国
ポスター発表の別)		(学会名等)		内の別
地殻構造探査により明らか	石山達也・佐藤	日本地球惑星科	平成 27年	国内
になった富山堆積盆地の活	比呂志・加藤直	学連合 2015 年	5月28日	
断層の構造的特徴	子	大会(幕張メッ		
(口頭発表)		セ)		
日本海地震・津波調査プロジ	石山 達也·佐藤	日本地球惑星科	平成 27年	国内
ェクト:海陸統合地殻構造探	比呂志・加藤 直	学連合 2015 年	5月27日	
査「2014年かほく・砺波測線」	子・蔵下 英司・	大会(幕張メッ		
による富山堆積盆地の構造	戸田 茂・越谷	セ)		
(口頭発表)	信・小林 健太・			
	野 徹雄・佐藤			
	壮・小平 秀一・			
	白石 和也・東中			
	基倫・阿部 進・			
	かほく砺波構造			
	探査研究グルー			
	プ			
地殻構造探査「2014年かほ	石山 達也・佐藤	石油技術協会春	平成 27年	国内
く・砺波測線」による富山堆	比呂志・加藤 直	季講演会(国立	6月11日	
積盆地の構造(口頭発表)	子・蔵下 英司・	青少年オリンピ		
	越谷 信・戸田	ックセンター)		
	茂・小林 健太・			
	野 徹雄・佐藤			
	壮・小平 秀一・			
	白石 和也·東中			
	基倫・阿部 進			
北陸地域の浅部~深部地殻	石山達也・佐藤	日本地質学会	平成 27年	国内
構造と活構造(口頭発表)	比呂志・加藤直	2015 年学術大	9月12日	
	子・越谷 信・松	会(信州大学)		
	原 誠・阿部			
	進・東中基倫			

2 . 5 . 1 断層モデルの構築

発表成果(発表題目、口頭・	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国
ポスター発表の別)		(学会名等)		内の別
Active Tectonics of	Naoko Kato,	European	平成 27年	国際
off-Hokuriku, Central	Hiroshi Sato,	Geosciences	4月15日	

Japan, by two ships seismic reflection profiling (ポスター発表) Active intraplate deformation as geodynamic responses to oblique shallow subduction of a flat slab: example from central and southwest Japan (口頭発表)	Tatsuya Ishiyama, Susumu Abe, and Kazuya Shiraishi Tatsuya Ishiyama and Hiroshi Sato	Union General Assembly 2016 (ウィーン) European Geosciences Union General Assembly 2016 (ウィーン)	平成 27年4月16日	国際
Structure of backarc inner rifts as a weakest zone of arc-backarc system: a case study of the Sea of Japan (口頭発表)	Hiroshi Sato, Tasuya Ishiyama, Naoko Kato, Susumu Abe, Hideo Saito, Kazuya Shiraishi, Shiori Abe, Takaya Iwasaki, Mitsuru Inaba, Tetsuo No, Takeshi Sato, Shuichi Kodaira, Tetsuya Takeda, Makoto Matsubara, and Chihiro Kodaira	European Geosciences Union General Assembly 2016 (ウィーン)	平成 27年 4月 15日	国際
日本海地震・津波調査プロジ	加藤直子・佐藤	日本地球惑星科	平成 27年	国内
ェクト:鳥取・福井沖地殻構	比呂志・石山達	学連合 2015 年	5月27日	
造探査の成果	也・白石和也・	大会(幕張メッ		
(ポスター発表)	阿部 進	セ)		
日本海地震・津波調査プロジ	石山達也・佐藤	日本地球惑星科	平成 27年	国内

エクト海陸統合地裁構造探 査「2014年かほく・砺波測線」、による富山堆積盆地の構造 (口頭発表) 地殻構造探査により明らかになった富山堆積盆地の活 断層の構造的特徴 (口頭発表) 本州の育弧内リフトの形成と短縮変形 (口頭発表) 本州の育弧内リフトの形成と短縮変形 (口頭発表) 本州の育弧内リフトの形成と短端変形 (口頭発表) 本州の育弧内リフトの形成と短端変形 (口頭発表) 本州の育弧内リフトの形成と短端変形 (口頭発表) 本州の育弧内リフトの形成と短端変形 (口頭発表) 本別を対して、に、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、		T	T	1	1
による富山堆積盆地の構造 (口頭発表)	ェクト:海陸統合地殻構造探	比呂志・加藤直	学連合 2015 年	5月27日	
(ロ頭発表) 信・小林健太・野徹雄・佐藤 壮・小平秀一・白石和也・東中基倫・阿部 進 日本地球惑星科 平成27年 国内 5月 28日 大会(幕張メッセ) 1日本地球惑星科 平成27年 国内 1日本地球惑星科 平成27年 国内 1日本地球惑星科 平成27年 国内 1日本地球惑星科 平成27年 国内 1日本地球 1日本地球惑星科 平成27年 国内 1日本地球 1日本地球球 1日本地球 1日本地球 1日本地球 1日本地球 1日本地球 1日本地球 1日本地球 1日本地球 1日本地球 1日本地	査「2014 年かほく-砺波測線」	子・蔵下英司・	大会(幕張メッ		
野 徹雄・佐藤 壮・小平秀一・白石和也・東中 基倫・阿部 進 石山達也・佐藤 比呂志・加藤 直 子の部 進・クラックを、	による富山堆積盆地の構造	戸田 茂・越谷	セ)		
## ・	(口頭発表)	信・小林健太・			
田石和也・東中基倫・阿部進 地殻構造探査により明らかになった富山堆積盆地の活断層の構造的特徴(口頭発表) 本州の背弧内リフトの形成と短縮変形 (口頭発表) 本州の背弧内リフトの形成と短縮変形 (口頭発表) 本州の背弧内リフトの形成と短縮変形 (口頭発表) を施味出志・石山達也・加藤直子・阿部紫織・蔵下佐藤 壮・小平秀・・松原誠 で、阿部紫織・佐藤 社・小平秀・・松原誠 で、「四頭発表) で「口頭発表) で「ロ頭発表) で「ローででは、アーでは、アーでは、アーでは、アーでは、アーでは、アーでは、アーでは、		野 徹雄・佐藤			
基倫・阿部 進 日本地球惑星科 中成 27年 国内 10月 1月 1		壮・小平秀一・			
世級構造探査により明らかになった富山堆積盆地の活断層の構造的特徴(口頭発表) 本州の背弧内リフトの形成と短縮変形(口頭発表) 本州の背弧内リフトの形成と短縮変形(口頭発表) で「口頭発表) を対して「口頭発表) を対して、「口頭発表) で「口頭発表」 で「ロ頭発表」 で「ロってにないでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で		白石和也・東中			
になった富山堆積盆地の活断層の構造的特徴(口頭発表) 本州の背弧内リフトの形成と短縮変形(口頭発表) 本州の背弧内リフトの形成と短縮変形(口頭発表) で「口頭発表) で「一口頭発表) で「一口頭発表) で「一口頭発表) で「一口頭発表) で「一口可発表) で「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、「一口で表して、一口では、「一口で表して、一口で表して、一口で表して、一口で表して、一口で表して、一口で表して、一口で表して、一口で表して、一口で表して、一口で表して、一口で表して、一口で表して、一口で表して、一口では、一口で表して、一口で表して、一口で表して、一口で表して、一口で表して、一口で表して、一口で表して、一口で表して、一口で表して、一口で表して、一口で表して、一口で表して、一口で表して、一口で表して、一口で表して、一口で表して、一口で、一口では、一口で表して、一口で、一口では、一口で表して、一口で表して、一口で、一口では、一口で、一口では、一口では、一口では、一口では、一口では、一		基倫・阿部 進			
断層の構造的特徴 (口頭発表)	地殻構造探査により明らか	石山達也・佐藤	日本地球惑星科	平成 27年	国内
では、	になった富山堆積盆地の活	比呂志・加藤 直	学連合 2015 年	5月28日	
本州の背弧内リフトの形成 と短縮変形 (口頭発表) 佐藤比呂志・石 山達也・加藤直 子・阿部 進・白 石和也・稲葉 充・阿部紫織・ 佐藤 壮・小平秀・松原 誠 石油技術協会春 平成 27年 国内 で 27年 の 27年	断層の構造的特徴	子	大会(幕張メッ		
と短縮変形 (口頭発表)	(口頭発表)		セ)		
マ・阿部 進・白石和也・稲葉 充・阿部紫織・蔵下英司・野 徹 雄・佐藤 壮・小平秀ー・松原 誠 一 では、一 では、一 では、一 では、一 では、一 では、一 では、一 では	本州の背弧内リフトの形成	佐藤比呂志・石	日本地球惑星科	平成 27年	国内
石和也・稲葉 充・阿部紫織・蔵下英司・野 徹雄・佐藤 壮・小平秀一・松原 誠 阿部紫織・佐藤 社・小平秀一・松原 誠 阿部紫織・佐藤 大・加藤直子・石山達也・野 徹雄・小平秀一 地殻構造探査「2014 年かほく・砺波測線」による富山堆積盆地の構造(口頭発表) 石油達也・佐藤 比呂志・加藤直子・高大・加藤直子・高大・一部で乗りません。 「一部では、小本健大・野・徹雄・佐藤、壮・小平秀一・白石和也・東中基倫・阿部 進 反射法地震探査による北陸〜鳥取沖の震源断層調査(口頭発表) 「石油技術協会春 季講演会(国立 青少年オリンピックセンター) 「石油技術協会春 季講演会(国立 青少年オリンピックセンター) 「石油技術協会春 季講演会(国立 青少年オリンピックセンター) 「一部 進 「石油技術協会春 季講演会(国立 青少年オリンピックセンター) 「一部 進 「日頭発表」」 「日本	と短縮変形	山達也・加藤直	学連合 2015 年	5月28日	
元・阿部紫織・蔵下英司・野 徹 雄・佐藤 壮・小平秀一・松原 誠 阿部紫織・佐藤 壮・小平秀一・松原 誠 阿部紫織・佐藤 世呂志・稲葉 充・加藤直子・石山達也・野 徹 雄・小平秀一 石山達也・野 徹 雄・小平秀一 七名・砺波測線」による富山堆 積盆地の構造(口頭発表) 石油達也・佐藤 七呂志・加藤直子・蔵下英司・ 古 (国頭発表) 英谷 信・戸田 茂・小林健太・野 徹雄・佐藤 壮・小平秀一・白石和也・東中 基倫・阿部 進 反射法地震探査による北陸 保藤比呂志・加 藤直子・石山達 で 海球会(国立 高月11日	(口頭発表)	子・阿部 進・白	大会(幕張メッ		
蔵下英司・野 徹 雄・佐藤 壮・小 平秀一・松原 誠		石和也・稲葉	セ)		
#・佐藤 壮・小 平秀一・松原 誠		充・阿部紫織・			
平秀一・松原 誠		蔵下英司・野 徹			
背弧リフトの短縮変形プロセス:秋田堆積盆地を例として(口頭発表) に出志・稲葉充・加藤直子・石山達也・野 徹雄・小平秀一 では、小平秀一 では、小平秀一では、小正よる富山堆積盆地の構造(口頭発表) では、小平秀一では、小本健太・野 徹雄・佐藤壮・小平秀一・白石和也・東中基倫・阿部 進 を がは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で		雄・佐藤 壮・小			
セス:秋田堆積盆地を例として(口頭発表) に呂志・稲葉 充・加藤直子・石山達也・野 徹 雄・小平秀一		平秀一・松原 誠			
て(口頭発表)	背弧リフトの短縮変形プロ	阿部紫織・佐藤	石油技術協会春	平成 27年	国内
石山達也・野 徹 雄・小平秀一 地殻構造探査「2014 年かほ く・砺波測線」による富山堆 積盆地の構造(口頭発表) 一	セス:秋田堆積盆地を例とし	比呂志・稲葉	季講演会(国立	6月11日	
#・小平秀一	て(口頭発表)	充・加藤直子・	青少年オリンピ		
地殻構造探査「2014 年かほく・砺波測線」による富山堆に出志・加藤直積盆地の構造(口頭発表) おおい様性大いの構造(口頭発表) おおい様性大いのでは、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切		石山達也・野 徹	ックセンター)		
く・砺波測線」による富山堆 積盆地の構造(口頭発表) だお、一戸田 茂・小林健太・ 野 徹雄・佐藤 壮・小平秀一・ 白石和也・東中 基倫・阿部 進 反射法地震探査による北陸 ~鳥取沖の震源断層調査 (口頭発表) 佐藤比呂志・加 藤直子・石山達 也・白石和也・ 東面子・石山達 で開致 造 で藤正とるれた で藤比呂志・加 下の電源断層調査 では、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、の		雄・小平秀一			
積盆地の構造(口頭発表) 子・蔵下英司・ 越谷 信・戸田 茂・小林健太・ 野 徹雄・佐藤 壮・小平秀一・ 白石和也・東中 基倫・阿部 進 反射法地震探査による北陸 ~鳥取沖の震源断層調査 (口頭発表) 佐藤比呂志・加 彦島取沖の震源断層調査 (口頭発表) では27年 を藤比呂志・加 藤直子・石山達 也・白石和也・ 両部 進 では27年 本講演会(国立 6月11日 青少年オリンピ ックセンター)	地殻構造探査「2014 年かほ	石山達也・佐藤	石油技術協会春	平成 27年	国内
越谷 信・戸田 ックセンター)	く・砺波測線」による富山堆	比呂志・加藤直	季講演会(国立	6月11日	
茂・小林健太・野 徹雄・佐藤 壮・小平秀一・白石和也・東中 基倫・阿部 進 反射法地震探査による北陸 ~鳥取沖の震源断層調査 (口頭発表) 佐藤比呂志・加 石油技術協会春 季講演会(国立 6月11日 也・白石和也・青少年オリンピックセンター)	積盆地の構造(口頭発表)	子・蔵下英司・	青少年オリンピ		
野 徹雄・佐藤 壮・小平秀一・ 白石和也・東中 基倫・阿部 進 イ油技術協会春 平成27年 国内 反射法地震探査による北陸 ~鳥取沖の震源断層調査 (口頭発表) 佐藤比呂志・加 藤直子・石山達 也・白石和也・ 阿部 進 本講演会(国立 6月11日 6月11日		越谷 信・戸田	ックセンター)		
壮・小平秀一・ 白石和也・東中 基倫・阿部 進 本倫・阿部 進 平成 27年 国内 反射法地震探査による北陸 - 鳥取沖の震源断層調査 (口頭発表) 佐藤比呂志・加 石油技術協会春 季講演会(国立 6月 11 日 也・白石和也・ 青少年オリンピ ックセンター) 6月 11 日 ・ ウームの であります。		茂・小林健太・			
白石和也・東中基倫・阿部 進上本倫・阿部 進上本倫・阿部 進工成 27年国内反射法地震探査による北陸 高取沖の震源断層調査 (口頭発表)佐藤比呂志・加 石油技術協会春 季講演会(国立 6月 11 日 也・白石和也・ 青少年オリンピ ックセンター)6月 11 日 中 11 日 日 11 日		野 徹雄・佐藤			
基倫・阿部 進基倫・阿部 進本品 27年反射法地震探査による北陸 ・鳥取沖の震源断層調査 (口頭発表)佐藤比呂志・加 石油技術協会春 平成 27年 国内 季講演会(国立 6月 11 日 セ・白石和也・ 青少年オリンピ ックセンター)		壮・小平秀一・			
反射法地震探査による北陸 ~鳥取沖の震源断層調査 (口頭発表)佐藤比呂志・加 藤直子・石山達 也・白石和也・ 阿部 進石油技術協会春 季講演会(国立 青少年オリンピ ックセンター)平成27年 6月11日 ックセンター)		白石和也・東中			
~鳥取沖の震源断層調査藤直子・石山達季講演会(国立 青少年オリンピ6月11日(口頭発表)市の単サクセンター)		基倫・阿部 進			
(口頭発表)也・白石和也・ 両部 進青少年オリンピ ックセンター)	反射法地震探査による北陸	佐藤比呂志・加	石油技術協会春	平成 27年	国内
阿部 進 ックセンター)	~鳥取沖の震源断層調査	藤直子・石山達	季講演会 (国立	6月11日	
	(口頭発表)	也・白石和也・	青少年オリンピ		
北陸地域の浅部~深部地殻 石山達也・佐藤 日本地質学会第 平成27年 国内		阿部 進	ックセンター)		
	北陸地域の浅部~深部地殻	石山達也・佐藤	日本地質学会第	平成 27年	国内

#*** して#*** / ロモジキ >		100 左坐体上人	0 0 10 0	
構造と活構造(口頭発表) 	比呂志・加藤直	122 年学術大会	9月12日	
	子・越谷信・松	(信州大学)		
	原誠・阿部			
	進・東中基倫			
北部フォッサマグナの地殻	佐藤比呂志	日本地質学会第	平成 27年	国内
構造と新生代テクトニクス		122 年学術大会	9月13日	
(口頭発表)		(信州大学)		
Late Cenozoic basin	Hiroshi Sato	The 2015	平成 27年	国際
evolution and active		Workshop of	10月5日	
tectonics of Japanese		the		
islands (口頭発表)		International		
		Lithosphere		
		Program (ILP)		
		Task Force on		
		Sedimentary		
		Basins (東京)		
Distribution of crustal	Takeshi SATO,	The 2015	平成 27年	国際
structure types and its	Tetsuo NO,	Workshop of	10月5日	
tectonic implications in the	Shuichi	the		
southern part of the Japan	KODAIRA,	International		
Sea back-arc basins	Seiichi	Lithosphere		
deduced from the seismic	MIURA,	Program (ILP)		
survey(口頭発表)	Tatsuya	Task Force on		
	ISHIYAMA,	Sedimentary		
	Hiroshi SATO	Basins (東京)		
Active fault and fold	Naoko KATO,	The 2015	平成 27年	国際
systems from shallow to	Hiroshi SATO,	Workshop of	10月5日	
deep in the eastern part of	Tatsuya	the		
Niigata basin, central	ISHIYAMA	International		
Japan(ポスター発表)		Lithosphere		
		Program (ILP)		
		Task Force on		
		Sedimentary		
		Basins (東京)		
Permanent deformation in	Tatsuya	The 2015	平成 27年	国際
the overriding plate along	ISHIYAMA,	Workshop of	10月6日	
the Japan Trench in the	Hiroshi SATO,	the		
southern Northeast Japan	Naoko KATO,	International		
 (口頭発表)	Susumu ABE	Lithosphere		
` · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			<u> </u>	

		D (77 D)		
		Program (ILP)		
		Task Force on		
		Sedimentary		
		Basins (東京)		
Estimation of pre-Neogene	Motonori	The 2015	平成 27年	国際
basement in Niigata-area	HIGASHINAK	Workshop of	10月6日	
Japan using gravity	A, Susumu	the		
anomalies and velocity	ABE, Hiroshi	International		
model based on reflection	SATO, Tatsuya	Lithosphere		
and refraction seismic	ISHIYAMA,	Program (ILP)		
surveys(口頭発表)	Naoko KATO	Task Force on		
		Sedimentary		
		Basins (東京)		
Strategic seismic data	Susumu ABE,	The 2015	平成 27年	国際
processing for extraction of	Motonori	Workshop of	10月6日	
deep crustal reflectors	HIGASHINAK	the		
through reconstructed	A, Hiroshi	International		
velocity heterogeneity	SATO, Tatsuya	Lithosphere		
(口頭発表)	ISHIYAMA	Program (ILP)		
		Task Force on		
		Sedimentary		
		Basins (東京)		
Concentration of strain in a	Hiroshi Sato,	American	平成 27年	国際
marginal rift zone of the	Tatsuya	Geophysical	12月16	
Japan backarc during	Ishiyama,	Union Fall	日	
post-rift compression	Naoko Kato,	Meeting 2015		
(ポスター発表)	Susumu Abe,	(サンフランシ		
	Kazuya	スコ)		
	Shiraishi,			
	Mitsuru Inaba,			
	Eiji			
	Kurashimo,			
	Takaya			
	Iwasaki, Anne			
	Van Horne,			
	Tetsuo No,			
	Takeshi Sato,			
	Shuichi			
	Kodaira,			
	muaira,		<u> </u>	

	I		<u> </u>	
	Makoto			
	Matsubara,			
	Tetsuya			
	Takeda, Shiori			
	Abe, Chihiro			
	Kodaira			
Relation between the	Takeshi Sato,	American	平成 27年	国際
crustal structure type and	Tetsuo No,	Geophysical	12月16	
the distribution of the	Shuichi	Union Fall	日	
crustal deformation in the	Kodaira,	Meeting 2015		
Japan Sea back-arc basins	Seiichi Miura,	(サンフランシ		
and its margins	Tatsuya	スコ)		
(ポスター発表)	Ishiyama,			
	Hiroshi Sato			
Crustal structure of the	Tetsuo No,	American	平成 27年	国際
western Yamato Basin,	Takeshi Sato,	Geophysical	12月16	
Japan Sea, revealed from	Shuichi	Union Fall	日	
seismic survey	Kodaira,	Meeting 2015		
(ポスター発表)	Seiichi Miura,	(サンフランシ		
	Tatsuya	スコ)		
	Ishiyama,			
	Hiroshi Sato			
Fundamental structure	Takaya	American	平成 27年	国際
model of island arcs and	Iwasaki,	Geophysical	12月16	
subducted plates in and	Hiroshi Sato,	Union Fall	日	
around Japan	Tatsuya	Meeting 2015		
(ポスター発表)	Ishiyama,	(サンフランシ		
	Masanao	スコ)		
	Shinohara,			
	Akinori			
	Hashima			
The Problem With the Plate	Anne Van	Amoriosa	平成 27年	国際
		American		当际
Boundary in the Sea of	Horne, Hiroshi	Geophysical	12月16	
Japan (ポスター発表)	Sato, Tatsuya	Union Fall	日	
	Ishiyama,	Meeting 2015		
	Naoko Kato	(サンフランシ		
		スコ)		

2.5.2 沿岸域の地震活動の把握

発表成果(発表題目, 口頭·	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国
ポスター発表の別)		(学会名等)		内の別
日本海沿岸域における地震	松原 誠	日本地球惑星科	平成 27年	国内
発生層深度(ポスター発表)		学連合 2015 年	5月27日	
		大会(幕張メッ		
		セ)		
Thickness and Lower Limit	Matsubara	AGU Fall	平成 27年	国際
Seismogenic Layer within	M. and H.	Meeting (サン	12月18	
the Crust beneath Japanese	Sato	フランシスコ)	日	
Islands on the Japan Sea				
Side (ポスター発表)				

2 . 5 . 3 構成岩石モデルの構築

発表成果(発表題目,口頭·	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国
ポスター発表の別)		(学会名等)		内の別
焼結したディオプサイド細	坪川祐美子・石	日本地球惑星科	平成 27年	国内
粒多結晶体の粒成長	川正弘	学連合 2015 年	5月27日	
(ポスター発表)		大会(幕張メッ		
		セ)		
曹灰長石ナノ多結晶体の焼	本多聡子・石川	日本地球惑星科	平成 27年	国内
結と粒成長(ポスター発表)	正弘	学連合 2015 年	5月27日	
		大会(幕張メッ		
		セ)		
天然鉱物を用いた透輝石多	坪川祐美子・石	日本地質学会第	平成 27年	国内
結晶体の粒成長実験	川正弘	122 年学術大会	9月11日	
(口頭発表)		(信州大学)		
島根県隠岐諸島島後に産す	高橋宏和・石川	日本地質学会第	平成 27年	国内
るマントル捕獲岩に対する	正弘	122 年学術大会	9月12日	
弾性波速度測定(口頭発表)		(信州大学)		
天然鉱物を用いたディオプ	坪川祐美子・石	日本鉱物科学会	平成 27年	国内
サイド多結晶体の粒成長実	川正弘	2015 年年会(東	9月25日	
験(口頭発表)		京)		
ディオプサイド多結晶体の	石川正弘・坪川	日本鉱物科学会	平成 27年	国内
高温変形に関する予察的実	祐美子	2015 年年会(東	9月27日	
験(ポスター発表)		京)	_	
天然鉱物を用いたディオプ	坪川祐美子・石	地殻ダイナミク	平成 27年	国内
サイド多結晶体の粒成長	川正弘	ス 2015 年研究	9月29日	
(ポスター発表)		集会(宮城県)		
			•	

曹灰長石ナノ多結晶体の粒	本多聡子・石川	地殻ダイナミク	平成 27年	国内
成長(ポスター発表)	正弘	ス 2015 年研究	9月29日	
		集会(宮城県)		
Crustal and uppermost	Masahiro	13 th	平成 27年	国際
mantle lithology of the NE	Ishikawa	International	3月15日	
Japan arc from comparison		workshop on		
with the measured and		water		
calculated rock velocity and		dynamics		
observed seismic velocity		(仙台)		
(口頭発表)				

2.6 海溝型地震と内陸沿岸地震の関連メカニズムの評価準備

発表成果(発表題目, 口頭·	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国
ポスター発表の別)		(学会名等)		内の別
Simulation of tectonic	Akinori	European	平成 27年	国際
evolution of the Kanto	Hashima,	Geosciences	4月17日	
basin of Japan since 1 Ma	Toshinori Sato,	Union General		
due to subduction of the	Hiroshi Sato,	Assembly 2015		
Pacific and Philippine sea	Kazumi Asao,	(ウィーン)		
plates and collision of the	Hiroshi			
Izu-Bonin arc	Furuya, Shuji			
(ポスター発表)	Yamamoto,			
	Koji Kameo,			
	Takahiro			
	Miyauchi,			
	Tanio Ito,			
	Noriko			
	Tsumura, and			
	Heitaro			
	Kaneda			
東北日本下の地震波速度異	橋間昭徳、	日本地球惑星科	平成 27年	国内
常領域による 2011 年東北沖	Thorsten	学連合 2015 大	5月27日	
地震の地殻変動への影響	Becker,	会(幕張メッセ)		
(口頭発表)	Andrew Freed,			
	佐藤比呂志、			
	David Okaya、			
	水藤尚、矢来博			
	司、松原誠、武			
	田哲也、石山達			

	也、岩崎 貴哉			
日本列島基本構造モデルの	岩崎貴哉・佐藤	日本地震学会	平成 27年	国内
構築・地形及びプレート境界	比呂志・篠原雅	2015 年秋季大	10月28	
モデル (ポスター発表)	尚・石山達也・	会(神戸市)	日	
	橋間昭徳			
2011 年東北沖地震による地	橋間昭徳・T.W.	日本地震学会	平成 27年	国内
殻変動に対する日本列島域	Becker • A.	2015 年秋季大	10月28	
の弾性構造の近地効果と遠	Freed・佐藤比	会(神戸市)	日	
地効果(ポスター発表)	呂志・D.			
	Okaya・水藤			
	尚・矢来博司・			
	松原誠・武田哲			
	也・石山達也・			
	岩崎貴哉			
Ambient noise imaging of	Fry, B., Sato,	The 10th	平成 27年	国際
the seismically anisotropic	H., Takeda, T.,	Workshop of	10月7日	
lithosphere below the Sea	Chen, Q.F.,	the		
of Japan (口頭発表)	Wang, K.	International		
		Lithosphere		
		Program		
		ILP-Task		
		Force on		
		Sedimentary		
		basins:		
		Lithosphere		
		dynamics of		
		sedimentary		
		basins in		
		subduction		
		systems and		
		related		
		analogues (東		
		京)		
Influence of 3-D elastic	Hashima, A.,	The 10th	平成 27年	国際
heterogeneity on coseismic	Becker, T.,	Workshop of	10月7日	
deformation due to the 2011	Freed, A.,	the		
Tohoku earthquake	Sato, H.,	International		
(口頭発表)	Okaya, D.,	Lithosphere		
	Suito, H.,	Program		

	Yarai, H.,	ILP-Task		
	Matsubara, M.,	Force on		
	, ,			
	Takeda, T.,	Sedimentary		
	Ishiyama, T.,	basins:		
	Iwasaki, T.	Lithosphere		
		dynamics of		
		sedimentary		
		basins in		
		subduction		
		systems and		
		related		
		analogues (東		
		京)		
Fundamental structure	Iwasaki, T.,	AGU Fall	平成 27年	国際
model of island arcs and	Sato, H.,	meeting (サン	12月16	
subducted plates in and	Ishiyama, T.,	フランシスコ)	日	
around Japan	Shinohara, M.,			
(ポスター発表)	Hashima, A.			
Lithospheric structure of	Fry, B., Sato,	AGU Fall	平成 27年	国際
the Sea of Japan from	H., Takeda, T.,	meeting (サン	12月18	
surface wave tomography	Chen, Q.F.,	フランシスコ)	日	
(口頭発表)	Okaya, D.,			
	Wang, K.			

3 . 1 . 津波予測

発表成果(発表題目, 口頭·	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国
ポスター発表の別)		(学会名等)		内の別
Relationship between	Gusman, A. R.,	日本地球惑星科	平成 27年	国内
tsunami heights at offshore	室谷智子, 佐竹	学連合 2015 年	5月24日	
and coastal points in the	健治	大会(幕張メッ	~ 28 日	
Sea of Japan		セ)		
(ポスター発表)				
Rupture process of the 2014	Gusman, A. R.,	26th IUGG	平成 27年	国際
Iquique, Chile earthquake	S. Murotani,	General	6月22日	
estimated from tsunami	K. Satake, M.	Assembly	~7月2	
waveforms, teleseismic	Heidarzadeh,	(プラハ)	日	
body waves, and GPS data	and S. Watada			
(口頭発表)				
Estimation of Coastal	Gusman, A. R.,	26th IUGG	平成 27年	国際

	T		T	1
Tsunami Heights from 60	S. Murotani,	General	6月22日	
Submarine Faults in the	and K. Satake	Assembly	~7月2	
Sea of Japan (口頭発表)		(プラハ)	日	
Sediment transport	Gusman, A. R.,	Arthur Holmes	平成 27年	国際
modeling of multiple grain	K. Satake, T.	Meeting 2015 -	9月25日	
sizes in V-shaped valley of	Goto, and T.	Tsunami		
Numanohama during the	Takahashi	Hazards and		
2011 Tohoku tsunami		Risks: Using		
(ポスター発表)		the Geological		
		Record (ロンド		
		ン)		
Sediment transport	Gusman, A. R.,	日本地震学会	平成 27年	国内
modeling of multiple grain	佐竹健治, 五島	2015 年度秋季	10月26	
sizes in V-shaped valley of	朋子,高橋智幸	大会 (神戸市)	~ 28 日	
Numanohama during the				
2011 Tohoku tsunami				
(口頭発表)				
First application of tsunami	Gusman, A. R.,	American	平成 27年	国際
back-projection and source	K. Satake, A.	Geophysical	12月14	
inversion for the 2012	Sheehan, I.	Union Fall	~ 18 日	
Haida Gwaii earthquake	Mulia, M.	Meeting 2015		
using tsunami data	Heidarzadeh,	(サンフランシ		
recorded on a dense array	and T. Maeda	スコ)		
of seafloor pressure gauges				
(ポスター発表)				

3.2 強震動予測

発表成果(発表題目, 口頭·	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国
ポスター発表の別)		(学会名等)		内の別
微動・重力探査に基づく鳥取	野口竜也・香川	日本地球惑星科	平成 27年	国内
県鹿野地域における地盤振	敬生・津吉祐	学連合 2015 年	5月25日	
動特性の評価と地盤構造の	典・小倉康平・	大会(幕張メッ		
推定(ポスター発表)	吉田昌平	セ)		
鳥取県内の地震観測点にお	野口竜也・西川	第 35 回土木学	平成 27年	国内
ける地盤構造の把握とサイ	隼人・吉田昌	会地震工学研究	10月6日	
ト特性の評価(口頭発表)	平・香川敬生	発表会		
		(東京)		

学会誌・雑誌等における論文掲載

1.1 防災教育に対する知識構造的アプローチ

掲載論文(論文題目)	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国
		(雑誌名等)		内の別
日本海沿岸自治体の津波防	関谷直也・田中	東京大学大学院	2016年3	国内
災と日本海津波想定	淳	情報学環調査紀	月 25 日	
		要,No.32,		
		83-132		

1.2 沿岸防災手法の工学的評価

掲載論文(論文題目)	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国
		(雑誌名等)		内の別
非静水圧を考慮した鉛直積	池澤広貴・下園	土木学会論文集	平成 27	国内
分型堤防越流モデルの開発	武範・佐藤愼司	B2 ,71(2),7-12	年 11 月	

2.1.2 津波堆積物の調査

掲載論文(論文題目)	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国
		(雑誌名等)		内の別
秋田県沿岸の沖積低地にみ	鎌滝孝信・阿部	第四紀研究、	平成 27年	国内
られるイベント堆積物	恒平・黒沢英	54、129-138	6月	
	樹・三輪敦志・			
	今泉俊文			
北海道の日本海・オホーツク	川上源太郎・仁	北海道地質研究	平成 27年	国内
海沿岸における津波履歴重	科健二・加瀬善	所調査研究報	4月	
点研究「北海道の津波災害履	洋・廣瀬亘・田	告、42、1-218		
歴の研究-未解明地域を中心	近淳・渡邊達			
に-」	也・石丸聡・嵯			
	峨山積・林圭			
	一・高橋 良・深			
	見浩司・田村			
	慎・輿水健一・			
	岡崎紀俊・大津			
	直			

2 . 2 . 1 沖合構造調査

掲載論文(論文題目)	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国
		(雑誌名等)		内の別
日本海及びその周辺の地形	野徹雄,平松孝	Jamstec	平成 28 年	国内
データの統合と赤色立体地	晋,佐藤壮,三浦	Report of	3月1日	

図	誠一,千葉達朗,	Research and	
	上山沙恵子,壱	Development	
	岐信二,小平秀		
	_		

3.2 強震動予測

掲載論文(論文題目)	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国
		(雑誌名等)		内の別
鳥取平野南部地域における	野口竜也・石田	土木学会論文集	平成 27年	国内
微動探査に基づく地震動評	勇介・香川敬生	A1(構造・地震	9月25日	
価のための地盤構造モデル		工学), Vol.71,		
の構築		No.4,		
		pp.I_943-		
		I_952		
微動観測から推定される加	浅野公之・岩田	日本地震工学会	平成 27年	国内
賀平野南部及び邑知潟平野	知孝・宮腰研・	論文集 ,Vol.15 ,	12月25	
の地下速度構造	大堀道広	No.7, pp.194-	日	
		204		

マスコミ等における報道・掲載

1.3 地域研究会・合同地域研究会の実施

報道・掲載された成果	対応者氏名	報道・掲載機関	発表時期	国際・国
		(新聞名・TV 名)		内の別
東大地震研教授が講演	佐藤比呂志	NHK 山形放送局、	平成 27	国内
"日本海震源"地震・津波に備		山形のニュース	年 6 月 26	
える			日	

2.1.2 津波堆積物の調査

報道・掲載された成果	対応者氏名	報道・掲載機関	発表時期	国際・国
		(新聞名・TV 名)		内の別
若狭湾岸に津波跡	山本博文	読売新聞(大阪支社)	平成 27	国内
			年 5 月 19	
			日	
富山湾 8000 年で津波 4 回	卜部厚志	北日本新聞	平成 28	国内
			年2月21	
			日	

2.3 沿岸海域および海陸統合構造調査

報道・掲載された成果	対応者氏名	報道・掲載機関	発表時期	国際・国
		(新聞名・TV 名)		内の別
富山市から入善沖の断層	佐藤比呂志	チューリップテレビ	平成 27	国内
長さは約 40 キロ			年 10 月	
			28日	
富山市 - 入善沖に活断層	佐藤比呂志	北日本新聞 webun	平成 27	国内
県が津波想定調査へ			年 10 月	
			28 日	
富山市 - 入善沖に活断層	佐藤比呂志	北日本新聞	平成 27	国内
能登沖も県が津波想定調査			年 10 月	
^			28日	